

救急車適正利用カード

このような症状はありませんか？

あたま 頭 突然の激しい頭痛
立てないくらいの
ふらつき

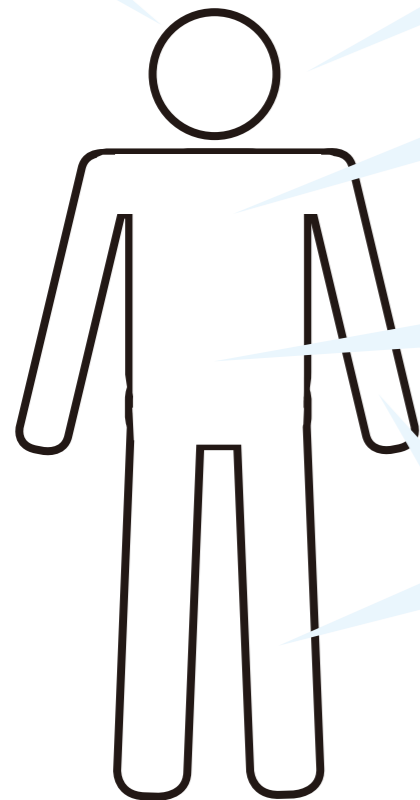
かお 顔 顔半分が動きにくい
言葉がうまく話せない
口や顔の片方がゆがむ

むね 胸 締め付けられるような
持続する痛み
息切れ、呼吸が苦しい

はら 腹 突然の激しい腹痛
血を吐いたり、便に血が混じる

てあし 手足 突然のしびれ
片方の手足に力が入らない

ほか 他 冷や汗をかいている
目がうつろでぼんやりしている



脳卒中や心筋梗塞などの

命に関わる危険な症状の可能性がります。

このような症状の場合は、ためらわずに

119番に連絡してください。

「救急車適正利用カード」 の掲載について

救急車の出動件数は年々増加し、現場到着時間の遅れが全国的な問題となつています。また、救急搬送された方の約半数が入院を要しない軽症となつています。中には救急車が不要でなかった方も見受けられます。

一方、この地域では本当に救急車を呼ぶべき人が、症状を軽く判断したり、近所迷惑になるからと遠慮して、自家用車やタクシーで病院に向かう例も見られます。

脳卒中や心筋梗塞はできるだけ早く治療を開始すると回復する可能性が高いといわれており、また、容態が急変する場合もあります。

そこでこの度、次の「救急車適正利用カード」を地域の皆様に広報を通じお届けすることとしました。

このカードを自宅の電話機近くに置いていただき、このカードのような症状があるときは命に関わる可能性も考えられますので、ぜひためらわずに**119番**に連絡をし、救急車を呼んでいただきたいと思います。

ただし、このカードの症状は一刻を争う主な症状をあげたものです。このカードにない症状でも急いで診察を受けた方が良い場合もありますので、ご本人や周りの方々が救急車を必要と感じたら、迷わず呼ぶようにしてください。

カードを利用し
迷わず**119番**！



**救急車が本当に必要な人のために、
救急車の適正利用をお願いします。**

—仙北市・大曲仙北広域消防本部—